

研究課題名	重症患者の経腸栄養不耐症に対する早期経腸栄養の影響
研究実施機関名および研究責任者	さいたま赤十字病院 薬剤部係長 問註所英明
研究代表施設および代表研究者	さいたま赤十字病院 薬剤部係長 問註所英明
研究期間	2023 年 9 月 29 日～2025 年 3 月 30 日
研究の目的と意義	ICU 入室患者は、代謝や異化の亢進、栄養基質の利用障害などにより栄養状態が悪化しやすく、昨今重症患者に対して早期経腸栄養（Early Enteral Nutrition:以下、early EN）が推奨されている。しかし、経腸栄養の提供中に栄養サポートに悪影響を与える多くの合併症が発生する可能性がある。経腸栄養不耐症（Enteral Feeding Intolerance:以下、EFI）は、多くの合併症の中で主要な症状であり、EFI が発生すると患者に十分な栄養素を届けることができない。そして、EFI により経腸栄養の減量や中止が行われる場合があり、誤嚥性肺炎のリスクにもなると報告されている。6 時間以内の early EN が EFI の発生率を低下させたとの報告があるが、early EN と EFI の関連についての研究は少ない。そこで今回、「ICU 入室後 48 時間以内に経腸栄養開始」を early EN、「ICU 入室後 48 時間以降に経腸栄養開始」を delayed EN、「胃残渣＞250ml」を EFI と定義し、重症患者における EFI の発生率に対する early EN と delayed EN の効果を比較する。
本研究の対象となる方	早期栄養管理加算取得後の2020年4月1日から2022年3月31日までの間にICUに入室された患者。
提供していただく情報	性別、年齢、体重、BMI、合併症、既往歴、現病歴、主病名、SOFA、APACHE II、臨床検査値、使用薬剤（血管収縮薬、麻薬、鎮静薬、腸蠕動促進薬等）、ICU入室期間、死亡率、経腸栄養剤、早期栄養介入管理加算の有無、胃残渣値、感染合併症等
研究内容	介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究
個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際には予め患者の個人情報とは無関係な番号を付して情報を管理する。患者の個人情報が院外へ漏れないように十分配慮する。
問い合わせ先 (拒否等の受付窓口)	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院 薬剤部係長 氏名： 問註所 英明 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5 電話：048-852-1111